
「植込み型心臓電気デバイスの遠隔モニタリングシステムにおける通信不良に関する実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017/4/1～2024/3/1 で、当院のペースメーカー・植込み型除細動器・両心室ペースメーカー・除細動機能付き両心室ペースメーカー植込み手術を受け、遠隔モニタリングを導入されたすべての患者さん

2. 研究の目的

遠隔モニタリングの通信不良に関する実態を明らかにすることが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

- 基本情報(年齢・性別・家族情報・植込み型心臓電気デバイスの種類・疾患・既往歴・エコー所見・採血データ・内服薬)
- 遠隔モニタリングシステム関連情報(送信方法・送信機・メーカー)
- 通信不良の有無、原因

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である寺崎義貴が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院の診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

心臓病脳卒中センター外来 看護師 寺崎義貴

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓病脳卒中センター外来 寺崎義貴

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：070-1799-4036（土日祝日を除く 8:30~17:30）

メールアドレス：terazaki@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：

植え込み型心臓電気デバイスの遠隔モニタリングシステムにおける通信不良に関する実態調査

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓病脳卒中センター外来 寺崎義貴